

# 定 期 作 況 報 告

平成25年10月  
(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

# 1. 気象経過

9月下旬：最高気温、最低気温および平均気温はともに平年並であった。降水量は平年より極めて多かった（平年比261％）。日照時間は平年並であった（平年比89％）。

10月上旬：最高気温は平年より高く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年より高かった。降水量は平年より少なかった（平年比34％）。日照時間は平年並であった（平年比112％）。

10月中旬：最高気温は平年より低く、最低気温および平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より極めて多く（平年比530％）、10月16日に降雪が観測された。日照時間は平年並であった（平年比91％）。

以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は、気温は平年並、降水量は平年より多く、日照時間は平年並であった。

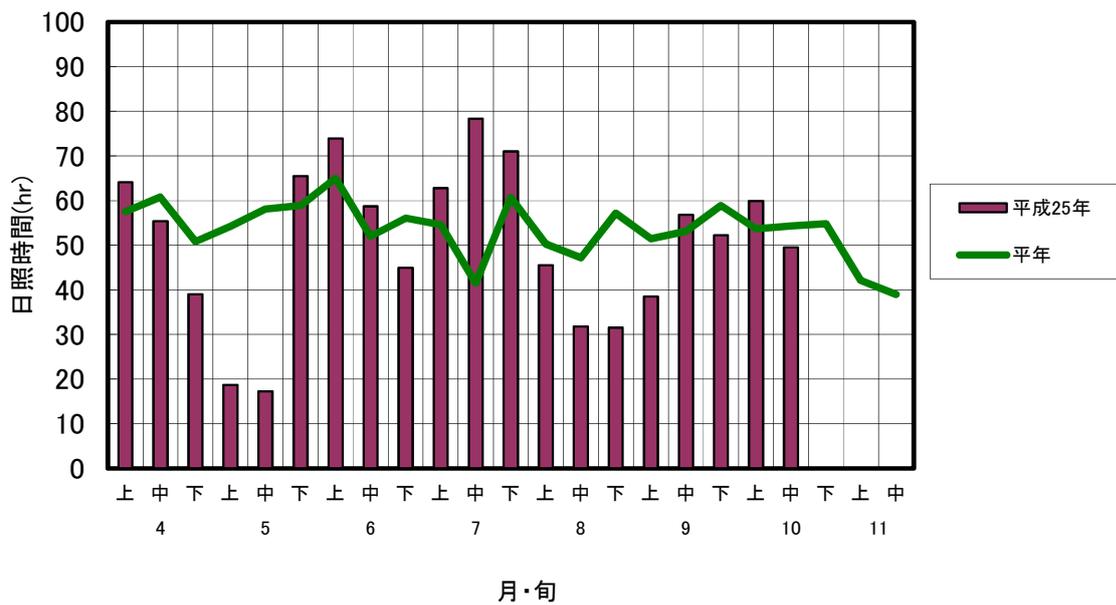
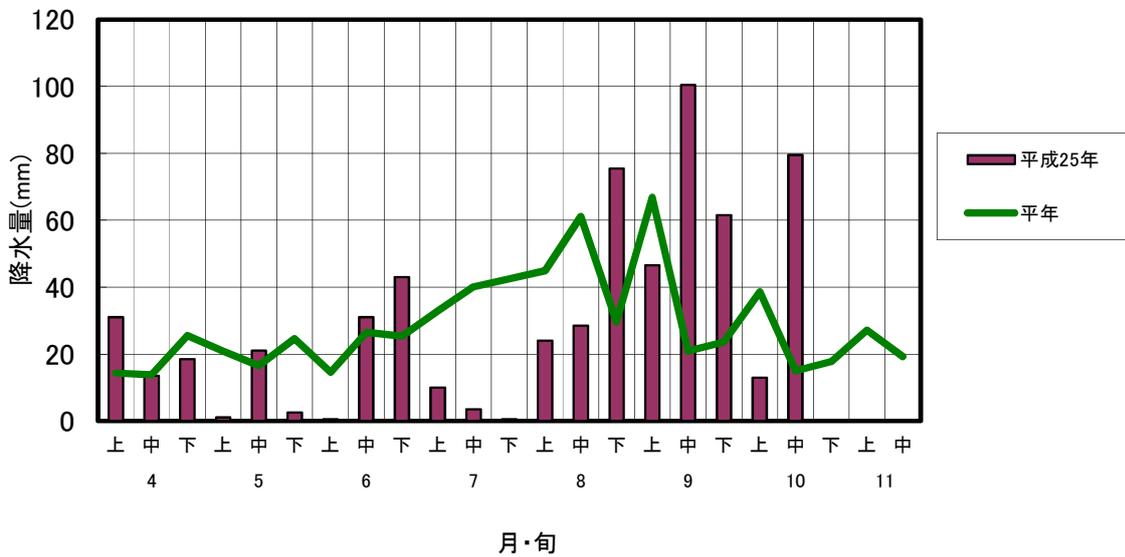
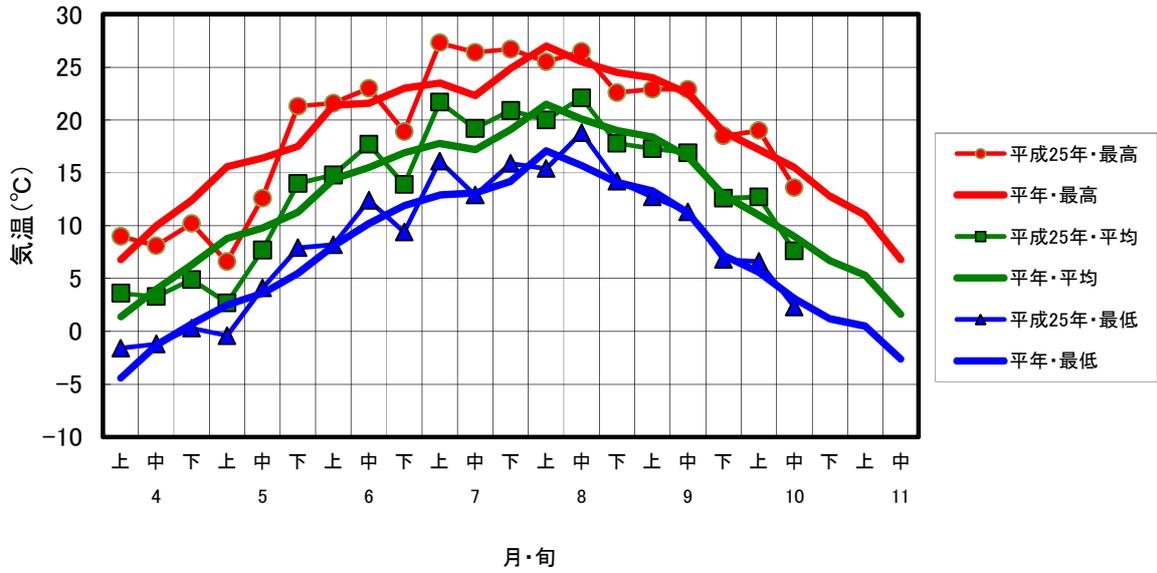
気 象 表

項目 月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	12.6	12.9	△0.3	18.5	18.9	△0.4	6.8	7.2	△0.4
10月上旬	12.7	11.0	1.7	19.0	17.2	1.8	6.6	5.6	1.0
10月中旬	7.6	9.0	△1.4	13.6	15.5	△1.9	2.3	3.1	△0.8

項目 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月下旬	61.5	23.6	37.9	52.2	58.9	△ 6.7
10月上旬	13.0	38.6	△25.6	59.9	53.7	6.2
10月中旬	79.5	15.0	64.5	49.5	54.3	△ 4.8

注1) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

2) 平年値は前10か年間の平均である。



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

### 1) とうもろこし(サイレージ用) 作 況：不良

事 由：収穫期は平年より1日早い9月24日であった。収穫時の稈長は平年より短く、子実の熟度は黄熟初期と平年よりやや遅れ、総体の乾物率は平年並であった。乾物茎葉重および乾物雌穂重は平年より少なく、乾物総重ならびに推定TDN収量は、それぞれ平年対比84%、85%といずれも低収であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月・日)	9.24	9.25	△1
収穫時の熟度	黄熟初期	黄熟初～中期	-
稈長 (9月20日) (cm)	228	276	△48
生総重(kg/10a)	5334	6574	△1240
乾物茎葉重(kg/10a)	742	943	△201
乾物雌穂重(kg/10a)	927	1047	△120
乾物総重(kg/10a)	1669	1990	△321
同上平年比(%)	84	100	△16
推定TDN収量(kg/10a)	1219	1439	△220
同上平年比(%)	85	100	△15
総体の乾物率(%)	31.2	30.4	0.8
乾雌穂重割合(%)	55.6	52.7	2.9
有効雌穂割合(%)	100.0	100.0	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

## 2) 大豆 作況：平年並

事由：成熟期は平年より4日早かった。着莢数は平年並で、一莢内粒数は平年をやや上回ったが、百粒重が平年をやや下回ったため、子実重は平年比103%であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.23	9.27	△4
着莢数(個/株) (成熟期)	67.7	67.5	0.2
一莢内粒数	1.94	1.77	0.17
子実重(kg/10a)	391	378	13
同上平年比(%)	103	100	3
百粒重(g)	36.1	37.2	△1.1
屑粒率(%)	1.1	1.7	△0.6

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

## 3) 小豆 作況：不良

事由：両品種ともに着莢数は平年並であったが、一莢内粒数は平年並からやや下回り、百粒重が平年を下回ったため、子実重は「サホロシヨウズ」が平年比93%、「エリモシヨウズ」が同87%であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	60.6	62.3	△1.7	63.8	62.9	0.9
一莢内粒数	5.84	5.84	0	6.04	6.39	△0.35
子実重(kg/10a)	383	410	△27	393	450	△57
同上平年比(%)	93	100	△7	87	100	△13
百粒重(g)	13.0	15.0	△2.0	12.1	14.4	△2.3
屑粒率(%)	1.0	2.1	△1.1	0.4	2.1	△1.7

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、20年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

#### 4) 菜豆 作況：不良

事由：着莢数は平年をやや下回り、一莢内粒数および百粒重は平年を大きく下回ったことから、子実重は平年比81%であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	18.6	20.2	△1.6
一莢内粒数	2.59	3.13	△0.54
子実重(kg/10a)	285	354	△69
同上平年比(%)	81	100	△19
百粒重(g)	64.7	74.5	△9.8
屑粒率(%)	1.9	4.4	△2.5

注1) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

#### 5) ばれいしょ 作況：やや良

事由：「コナフブキ」の枯ちょう期は平年より4日遅い10月9日であった。上いも数は平年より多かったが、上いも平均重は平年を下回った。上いも重、でん粉価ともに平年をやや上回ったことから、でん粉重は平年をやや上回った。

以上のことから、前報の「男爵薯」と併せ、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	9.3	9.2	1	10.9	10.5	4
上いも数(個/株)	10.2	9.7	0.5	12.4	9.9	2.5
上いも平均重(g)	107	103	4	93	113	△20
上いも重(kg/10a)	4828	4387	441	5126	4939	187
同上平年比(%)	110	100	10	104	100	4
でん粉価(%)	15.5	14.8	0.7	22.1	21.5	0.6
でん粉重(kg/10a)	—	—	—	1081	1014	67
同上平年比(%)	—	—	—	107	100	7

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均。

## 6) てんさい

作 況：やや良

事 由：収穫は平年より3日遅い10月22日に行った。この1ヶ月間の気象はほぼ平年並に経過したため生育は順調に推移し、根重は平年をやや上回った。このため、根中糖分はほぼ平年並であったが、糖量は平年をやや上回った。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ（参考）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
茎葉重 (kg/10a) (10月20日)	6057	5453	604	6096	5838	258	5130	3798	1332
根重 (kg/10a) (10月20日)	7703	7153	550	7755	7455	300	7548	6344	1204
根中糖分 (%) (10月20日)	16.36	16.80	△ 0.44	17.03	17.00	0.03	16.74	16.65	0.09
糖量 (kg/10a) (10月20日)	1260	1197	63	1320	1265	55	1264	1052	212

注1) 平年値は前7か年中、平成21年（最豊）、22年（最凶）を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前3か年の平均。

## 7) 牧草(チモシー)

作況: 平年並

事由: 3番草の収穫は平年より3日遅い10月7日に行った。3番草の草丈は平年並であったが、乾物収量は平年比110%と平年より多かった。1～3番草の合計乾物収量は平年比97%と平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.7	10.4	3
病害罹病程度	3番草	2.0	3.8	△1.8
草丈(cm)	3番草	44	44	0
生草収量(kg/10a)	3番草	608	664	△56
	1～3番草合計	3833	4427	△594
乾物率(%)	3番草	29.3	26.4	2.9
乾物収量(kg/10a)	3番草	178	162	16
	1～3番草合計	953	979	△26
同上平年比(%)	3番草	110	100	10
	1～3番草合計	97	100	△3

注1) 平年値は前7か年中、平成18年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 病害罹病程度は、1:無または微～9:甚。病害は主に斑点病。